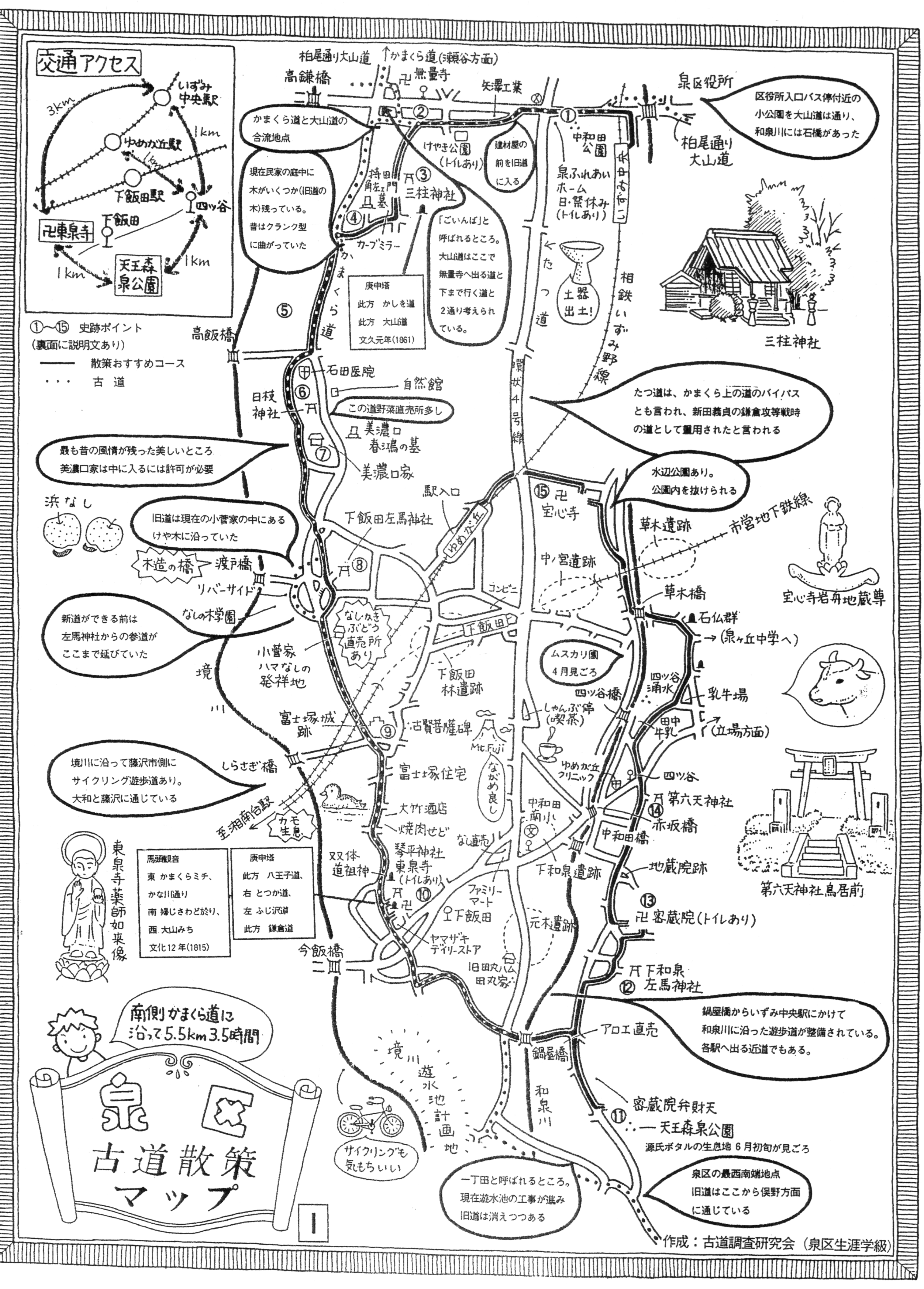
交通アクセス
いずみ中央駅
ゆめが丘駅
下飯田駅
四ツ谷
下飯田
卍東泉寺
天王森泉公園
3km
1km
1km
1km
1km
①〜⑮ 史跡ポイント
(裏面に説明文あり)
散策おすすめコース
古道
柏尾通り大山道
↑かまくら道(瀬谷方面)
高鎌橋
卍無量寺
矢澤工業
泉区役所
区役所入口バス停付近の小公園を大山道は通り、和泉川には石橋があった
柏尾通り大山道
かまくら道と大山道の合流地点
けやき公園(トイレあり)
建材屋の前を旧道に入る
中和田公園
泉ふれあいホーム 日・祭休み(トイレあり)
長後街道
現在民家の庭中に木がいくつか(旧道の木)残っている。昔はクランク型に曲がっていた
持田角左ェ門墓
三柱神社
カーブミラー
「ごいんば」と呼ばれるところ。大山道はここで無量寺へ出る道と下まで行く道と2通り考えられている。
庚申塔
此方 かしを道
此方 大山道
文久元年(1861)
たつ道
土器出土!
相鉄いずみ野線
三柱神社
かまくら道
高飯橋
石田医院
自然館
日枝神社
この道野菜直売所多し
美濃口春鴻の墓
美濃口家
環状4号線
たつ道は、かまくら上の道のバイパスとも言われ、新田義貞の鎌倉攻等戦時の道として重用されたと言われる
最も昔の風情が残った美しいところ 美濃口家は中に入るには許可が必要
水辺公園あり。公園内を抜けられる
駅入口
宝心寺
浜なし
旧道は現在の小菅家の中にあるけや木に沿っていた
下飯田左馬神社
ゆめが丘
草木遺跡
市営地下鉄線
木造の橋
渡戸橋
リバーサイド
中ノ宮遺跡
コンビニ
宝心寺岩舟地蔵尊
草木橋
なしの木学園
新道ができる前は左馬神社からの参道がここまで延びていた
なし・かき ぶどう直売所あり
下飯田
石仏群
→(泉ヶ丘中学へ)
小菅家 ハマなしの発祥地
ムスカリ園 4月見ごろ
下飯田林遺跡
四ツ谷湧水
四ツ谷橋
乳牛場
境川
しゃんぷ停(喫茶)
田中牛乳
→(立場方面)
富士塚城跡
古賢菩薩碑
Mt.Fuji
ながめ良し
境川に沿って藤沢市側にサイクリング遊歩道あり。大和と藤沢に通じている
しらさぎ橋
富士塚住宅
ゆめが丘クリニック
四ツ谷
第六天神社
至湘南台駅
大竹酒店
カモ生息
焼肉せど
中和田南小
赤坂橋
中和田橋
東泉寺薬師如来像
馬頭観音
東 かまくらミチ、
かな川通り
南 ひじさわど於り、
西 大山みち
文化12年(1815)
庚申塔
此方 八王子道、
右 とつか道、
左 ふじ沢道
此方 鎌倉道
双体道祖神
琴平神社
東泉寺(トイレあり)
なし直売
下和泉遺跡
地蔵院跡
ファミリーマート
下飯田
元木遺跡
卍密蔵院(トイレあり)
ヤマザキデイリーストア
今飯橋
旧田丸家
下和泉左馬神社
南側かまくら道に沿って5.5km 3.5時間
鍋屋橋からいずみ中央駅にかけて和泉川に沿った遊歩道が整備されている。各駅へ出る近道でもある。
アロエ直売
鍋屋橋
境川遊水池計画地
和泉川
密蔵院弁財天
天王森泉公園
源氏ボタルの生息地 6月初旬が見ごろ
泉区
古道散策マップ
サイクリングも気もちいい
一丁田と呼ばれるところ。現在遊水池の工事が進み旧道は消えつつある
泉区の最西南端地点
旧道はここから俣野方面に通じている
1
作成：古道調査研究会（泉区生涯学級）

Ⅰ　鎌倉道（南側）に沿って……下飯田・下和泉方面

下飯田・下和泉方面には南北に鎌倉道（上の道）が通り抜け、上飯田との境には東西に大山道が走っている。鎌倉道や大山道沿いに古くから開けた地域である。明治中期から昭和初期にかけて養蚕業、製糸業が栄え、戦後は都市の近郊農村として野菜作りが盛んで都市へ出荷し、昭和40年代に入り、住宅や工場が進出し人口も急増し農業も変化している。

①中和田公園　和泉町３４９６付近
かつて招魂社と呼ばれ、大きな「忠魂碑」がたっているほか、泉区のかつての名士たちの顕彰碑が立ち並んでいる。

②かさもり稲荷　上飯田町１０９４
医薬が現在ほど進んでいなかった時代、瘡（性病やおでき）から身を守るために信仰された。瘡守、笠森などとも書く。

③三柱神社　上飯田町８４０
大正元年、菅原道真を祀った天神社、大山咋命を祀った日枝社、豊受気媛を祀った神明社の３社が合併したもの。

④持田角左衛門墓　上飯田町３９１
持田角左衛門は当地方の製糸業のパイオニアである。明治32年、アメリカの先進技術を学んで帰国、「盛進社合資会社」を設立したが、明治34年、志なかばにして６０歳でこの世を去ったため、長男の初治郎がその跡を継いだ。持田製糸工場は現在の上飯田農協の近くと長後とにあった。

⑤宮崎製糸場跡　上飯田町１１２
オートキャリー㈱のある場所は、かつての宮崎製糸場の跡。宮崎勘右衛門・同長男芳松は持田製糸場に続いて製糸業に乗り出し、大正１２年には女工３３０名を擁する大工場に発展させたが、その後、幾多の変遷を経て、現在はオートキャリー㈱本社営業所となっている。
宮崎氏住居の長屋門はいまも周囲を圧している。

⑥日枝神社　下飯田町１７５１
日枝神社は、今は目立たない存在になっているが、かつてはお祭りも盛大に行われていたようだ。
この付近の旧道は鎌倉街道の風情を最もよく残している。

⑦美濃口家　１７４４（付、美濃口春鴻の墓）
旧道に沿って大きな長屋門のある家が、江戸期以来の名主、明治になってからも村長を出し続けた美濃口家である。
春鴻は享保１８年（１７３３）美濃口家に生まれた人で、江戸期の相模を代表する俳人といってよい。墓は近くの新道沿いにある。

⑧下飯田左馬神社　下飯田町１３８９
「相模七サバ」の１つといわれている。境内や鳥居付近に庚申塔、堅牢地神塔、馬頭観音、不動明王など、いろいろな石仏が、豊かな相模の「野の仏」を見せている。

⑨富士塚城址　下飯田町１０１６
現在、鎌倉街道に面して「富士塚城址」の石碑の立った公園があり、源頼朝の危急を救った恩人としての飯田家義の故事を伝えている。しかし、実際の家義の館は現在の富士塚団地の中にあったらしい。明治３２年、家義の墳墓の跡らしいものを掘り当てた人があり、近くの共同墓地内に「古賢大菩薩」の石塔が建てられた。
東泉寺には、家義の供養塔のほか、このとき出土したと伝えられる五輪塔などがある。

⑩東泉寺・琴平神社　下飯田町７４３
東泉寺は、相模八十八箇所の札所で、鎌倉竜宝寺の末寺。寺の境内には飯田家義の守り本尊であったという薬師を祀る薬師堂がある。また隣の琴平神社との間や山門脇には、鎌倉道・大山道の道標をはじめ、石仏群が祀られている。
琴平神社は、江戸時代のこの地区の領主（旗本）であった筧氏が、境川の水防を願って勧請したもの。

⑪天王森泉公園（清水製糸工場跡）　和泉町２９８
天王森泉公園の中心になっているのが、かつての「清水製糸工場」の建物である。同工場は大震災などで廃業したが、建物自体は近くの人に買い取られて、住居として現存していた。公園が計画される際、持ち主から市に譲り渡された。

⑫下和泉鯖神社　和泉町７０５
慶長年間、当地の清水・鈴木両氏が氏神として勧請したものという。相模七サバのひとつ。

⑬密蔵院　和泉町７２７
真言宗の古い寺。この寺は、旧和泉村内の神社や石仏、それに出羽三山講の先達としてその名を刻まれているから、かつては和泉村の民間信仰の中心役を務めていたらしい。
境内には貞和３年（１３４７）の銘のある板碑があるほか、門前には木食観正碑（南無大師遍照金剛）がある。

⑭第六天神社　和泉町７８５
第六天社という名前の神社はかつて無数にあったが、今は数えるほどしか残っていない。神社の裏の池は親孝行の子供のために、親に持ち帰る酒が湧く池だったが、あるとき、村人に見つかり、ただの水になってしまったという伝説を持っている。

⑮宝心寺　和泉町３１９３
江戸時代の和泉村の領主で旗本だった松平氏（能見松平という）の菩提寺。墓地の一角には松平氏の代々の墓が並び、土地の人々は「殿墓」と呼んでいる。